

## 第1回

# 赤坂小学校 避難所運営訓練

- ◆日 時 平成21年7月4日（土曜） 16:00～18:00
- ◆場 所 赤坂小学校
- ◆参加者 赤坂新町五丁目町会、赤坂七丁目町会、赤坂八丁目町会の方々等  
計36名  
(協力：赤坂小学校、港区防災課、赤坂地区総合支所、赤坂消防署)
- ◆訓練内容 避難所運営マニュアルに基づいた訓練（以下参照）

### ●協議会本部設置担当

- 1階会議室に協議会本部を設置します。
- 避難場所やそこまでの経路の安全確認を行い、そこに避難者への案内の貼り紙を貼ります。



【貼り紙を貼る場所を検討しています】



【経路の制限も行います】

### ●情報集約・活動調整担当

- 赤坂小ブロックの防災マップを用意します。
- 町会の方々や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに被害状況を集約します。



【情報集約の結果を報告します】



【防災マップに被害状況を書き込みます】

## ●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（地下 1 階体育館）を町会ごとに区分けをします。



【町会ごとに避難するため、区分けをします】



【通路も確保します】

## ●負傷者・要援護者担当

○1 階ランチルームに救護所・要援護者用避難場所を設置します。

○負傷者・要援護者を 1 階ランチルームに搬送し、応急手当を行います。



【三角巾による包帯法】



【毛布と物干し竿を使った簡易担架】

## ●照明・仮設トイレ設置担当

○1 階備蓄倉庫から、仮設トイレ、発電機や投光機を運び出し、設置します。



【仮設トイレを組み立てます】



【災害時におけるトイレは非常に重要です】

## 第2回

# 赤坂小学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成23年7月2日（土曜）

□第1部（避難所立ち上げ訓練） 13:00～14:30

□第2部（避難者受入れ訓練） 14:30～16:00

◆場 所 赤坂小学校

◆参加者 148名

□赤坂地区防災ネットワーク会員（立ち上げメンバー含む） 30名

□赤坂小学校PTA 4名

□民生・児童委員 3名

□避難者役 84名

□学校、消防署、港区（防災課、赤坂地区総合支所） 25名

□事業者（葛飾福祉工場、グリコ） 2名

◆訓練内容 第1部（避難所立ち上げ訓練）

赤坂地区防災ネットワーク会員と赤坂小学校PTAを中心に、4つの担当に分かれて避難所の立ち上げ作業を行いました。

第2部（避難者受入れ訓練）

避難所の立ち上げ作業を行ったメンバーが、避難者役（町会員・一般参加者等）の方々を受け入れる訓練を行いました。

また、校内には複数の訓練ブースを設け、参加者の方々が自由に体験しました。

## ＜第1部 避難所立ち上げ訓練の様子＞

### ●協議会本部設置担当

○1階 第1会議室に協議会本部を設置します。

○校舎内の避難場所や立入禁止箇所を貼り紙やロープを用いて表示します。



【協議会本部を設置します】



【児童とのすみ分けを考えることも必要です】

## ●情報集約・活動調整担当

○赤坂小ブロックの防災マップを用意し、町会員や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに情報を集約します。

○1階 玄関口の仮設電話設置場所に特設公衆電話を設置します。



【防災マップに被害状況を集約します】



【特設公衆電話を設置します】

## ●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難所（地下1階 体育館）を町会ごとに区分けをします。

○通路の確保にはロールカーペットを 사용합니다。



【体育館では組織（町会）ごとにまとまります】 【通路の確保は物資を配給するうえでも重要です】

## ●炊き出し担当・赤坂小学校PTA

○アルファ米と豚汁の炊き出しを行い、災害用バーナーの取扱い方法を確認します。



【アルファ米は水でも作ることができます】



【バーナーの取扱いは十分な訓練が必要です】

## ＜第2部 避難者受入れ訓練の様子＞

### ●避難者受付(協議会本部設置担当が実施)

○1階 玄関口の避難者窓口（受付）において、避難者の対応を行います。

○避難所の統制を図るため、一斉に多くの避難者が入場しないよう、避難者誘導・居住班編成の担当とトランシーバーで連絡を取りながら対応します。



【1階 玄関ホールに避難者窓口（受付）を設置します】

### ●災害用伝言ダイヤルコーナー(情報集約・活動調整担当が実施)

○1階 玄関口に設置した特設公衆電話を用いて、災害用伝言ダイヤルの利用方法について確認します。

○災害用伝言ダイヤルコーナーを運営し、避難者に災害用伝言ダイヤルの利用方法や仕組みについて説明します。



【安否確認には災害用伝言ダイヤル 171】

### ●避難者誘導・居住班編制(避難者誘導・居住班編成担当が実施)

○避難者を一般者用避難所（地下1階 体育館）に誘導し、町会ごとにまとまるよう指示をします。

○同じ組織の避難者がある程度集まったら10名程度の居住班（※）を作り、居住班ごとに名簿を作成します。

※居住班・・・避難所内で生活・行動をする班



【居住班ごとにリーダーを決め、名簿を記入します】

## ● 防災訓練(写真是一部訓練のみ掲載)

- ①防災備蓄倉庫見学 ②初期消火器訓練 ③応急救護訓練  
④炊き出し訓練 ⑤山本さんコーナー（災害パネル展示） ⑥災害用品展示コーナー  
⑦防災・講習相談コーナー ⑧災害用伝言ダイヤルコーナー（上記参照）



- ②【「火事だ〜！」大声で知らせることも重要です】 ③【毛布と物干し竿で簡易担架を作れます】



- ④【大好評で長蛇の列ができた炊き出し】 ⑤【東日本大震災の被災地の写真も展示されました】



- ⑥【各家庭・各組織での事前の対策が重要です】 【ご近所の方との関係を深めておくことが  
いざというときの助け合いに繋がります】

※避難所は自宅が被災して住めない方の生活の場です。自宅が住める状態であれば、原則、自宅で生活を送ります。

そのため、地震に備える【自助】の取組みとして、各家庭での家具の転倒防止や災害用食料の備蓄（3日分を目安）に努めましょう。

また、【共助】の取組みとして、いざというときに助け合えるよう、日頃から地域の絆を深めておくことが重要です。

【自助】 自分の身は自分でまもる  
【共助】 自分たちのまちは自分たちでまもる

### 【お問い合わせ】

赤坂地区防災ネットワーク

赤坂小ブロック長 西 勇治

電話：3403-7439

赤坂地区総合支所 協働推進課

協働推進係 森（健）、辻

電話：5413-7272

## 第3回

# 赤坂小学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成25年3月2日（土曜）

□第1部（避難所立ち上げ訓練） 13:00～14:30

□第2部（避難者受入れ訓練） 14:30～16:00

◆場 所 赤坂小学校

◆参加者 約100名

□赤坂地区防災ネットワーク会員（立ち上げメンバー含む） 28名

□赤坂小学校PTA 10名

□民生・児童委員 3名

□避難者役 45名

□学校、消防署、港区（赤坂地区総合支所） 16名

□事業者（葛飾福祉工場、グリコ） 1名

◆訓練内容 第1部（避難所立ち上げ訓練）

赤坂地区防災ネットワーク会員と赤坂小学校PTAを中心に、4つの担当に分かれて避難所の立ち上げ作業を行いました。

第2部（避難者受入れ訓練）

避難所の立ち上げ作業を行ったメンバーが、避難者役（町会員・一般参加者等）の方々を受け入れる訓練を行いました。

また、校内には複数の訓練ブースを設け、参加者の方々が自由に体験しました。

## 〈第1部 避難所立ち上げ訓練の様子〉

### ●協議会本部担当

○1階第1会議室に協議会本部を設置します。

○校舎内の避難場所や立入禁止箇所を貼り紙やロープを用いて表示します。



【協議会本部を設置します】



【備蓄倉庫から必要な物資を運びます】

## ●情報集約・活動調整担当

- 赤坂小ブロックの防災マップを用意し、町会員や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに情報を集約します。
- 避難所に必要な情報をホワイトボードシートに集約し、避難所入口に掲示します。
- 1階 玄関口の仮設電話設置場所に特設公衆電話を設置します。



【必要な情報を集約します】



【地域の被害状況を地図にまとめます】

## ●避難者誘導・居住班編制担当

- 一般者用避難所（地下1階 体育館）を町会ごとに区分けをします。
- 通路の確保にはロールカーペットを 사용합니다。



【体育館では町会ごとにまとまります】



【通路の確保は物資を配給するうえでも重要です】

## ●炊き出し担当・赤坂小学校PTA

- アルファ米とカレースープの炊き出しを行い、災害用バーナーの取扱い方法を確認します。



【カレースープの炊き出し】



【アルファ米の準備の様子】

## 〈第2部 避難者受入れ訓練の様子〉

### ●避難者受付(協議会本部設置担当)

○1階 玄関口の避難者窓口(受付)において、避難者の対応を行います。

○避難所の統制を図るため、一斉に多くの避難者が入場しないよう、避難者誘導・居住班編成の担当とトランシーバーで連絡を取りながら対応します。



### ●災害用伝言ダイヤルコーナー(情報集約・活動調整担当)

○1階 玄関口に設置した特設公衆電話を用いて、災害用伝言ダイヤルの利用方法について確認します。

○災害用伝言ダイヤルコーナーを運営し、避難者に災害用伝言ダイヤルの利用方法や仕組みについて説明します。



### ●避難者誘導・居住班編制(避難者誘導・居住班編成担当)

○避難者を一般者用避難所(地下1階 体育館)に誘導し、町会ごとにまとまるよう指示をします。

○同じ組織の避難者がある程度集まったら10名程度の居住班(※)を作り、居住班ごとに名簿を作成します。



## ●防災訓練

○赤坂消防署の協力により、初期消火訓練・応急救護訓練を実施しました。



【応急救護訓練（AED）①】



【応急救護訓練（AED）②】



【応急救護訓練（担架による救助）】



【初期消火訓練】

○ほのぼのの灯り体験



【身近な物を利用して灯りを点灯し、ホットケーキを作りました】

○防災パネル展示



【被災地でのボランティア活動をパネルにて紹介しました】

○階段避難車体験



【階段避難車による体験訓練を行いました】

○発電機作動・投光器点灯体験



【発電機を動かし、投光器を点灯する体験訓練】

## 第4回

# 赤坂小学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成27年6月22日（月曜）  
□第1部（トランシーバー操作訓練） 18:00～19:00  
□第2部（夜間避難所立ち上げ訓練） 19:00～21:00

◆場 所 赤坂小学校

◆参 加 者 43名  
□赤坂小学校ブロック会員 28名  
□見学者 5名  
□学校、消防署、港区（赤坂地区総合支所） 10名

◆訓練内容 第1部（トランシーバー操作訓練）  
赤坂小学校ブロック会員が、各町会毎（3町会）に分かれてトランシーバーの操作訓練を行いました。また赤坂小学校から各場所へ向かい、トランシーバーの受信範囲を確認しました。

第2部（夜間避難所立ち上げ訓練）  
避難所の立ち上げ作業を本部班・情報集約班・居住編成班・照明発電機班の4つの班に分かれて行ないました。

## 〈第1部 トランシーバー訓練の様子〉

### ●トランシーバー操作訓練

- 1階ピロティーにてトランシーバーの電源の入れ方から周波数バンドを合わせる操作や応答方法を学びました。
- 各町会毎（3町会）に分かれて、赤坂小学校から各場所に向かい、どれくらいの範囲まで応答できるのか受信範囲を確認しました。また、応答を実際に行ない、操作の習得を図りました。



ピロティーでトランシーバーの操作方法を習得



学校外での受信範囲の確認および応答の実践

## 〈第2部 夜間避難所立ち上げ運営訓練〉

校舎内の照明を消して、暗い状態で訓練を行ないました。

### ●本部班

○防災備蓄倉庫から避難所本部立ち上げセットを搬出した後、1階ランチルームに協議会本部を設置しました。

○校舎内の避難場所や立入禁止場所を貼り紙とロープにて表示しました。

○1階ピロティーに避難者受付窓口を設置しました。



貼り紙とロープにて立入禁止場所を表示



避難者受付窓口



体育館入口に貼り紙表示

### ●情報集約班

○防災備蓄倉庫から防災マップとホワイトボードシートおよび救急セットを搬出しました。

○集約した情報をホワイトボードシートに記載し、1階ピロティーに下駄箱に張り付けました。



情報を集約してホワイトボードシートに記載しているところ



下駄箱にホワイトボードシートを貼り付け



ソーラーランタンとヘッドライトを使用した明るさ

## ●居住編成班

- 防災備蓄倉庫からロールカーペット・多目的ハウス・段ボール間仕切りパネル等を搬出しました。
- 地階体育館に、一般者用避難所を町会ごとに区分けしました。
- 通路の確保用にロールカーペットを写真のように敷きました。
- 多目的ハウスを設置しました。
- 段ボール間仕切りパネルを設置し、避難者スペースを確保しました。



通路確保用のロールカーペット



多目的ハウスの設置

## ●照明・発電機班

- 防災備蓄倉庫から発電機・灯光機セット・コードリール等を搬出しました。
- ピロティー脇の階段踊り場にて、灯光器を組み立て、コードリールを介して体育館のキャットウォーク（2階通路）に2基設置しました。
- 発電機の作動操作をおこないました。



灯光機の組み立て



2階通路に灯光機2台設置



発電機の作動操作

